３年３組　国語科学習指導案

日　時　平成２８年１０月２４日（月）第５校時

[redacted]

１　**単元名**　論旨を捉えて　第３学年「Ｃ　読むこと」
　　学習材　「作られた『物語』を超えて」山極　寿一

２　単元のねらいと概要

「ゴリラは決して凶暴な動物ではない。」このことを我々は信じきることができるだろうか。これまでの常識を覆すには，読み手が納得する根拠とともに，納得させるための文章の構成や工夫した書き方の技術が必要になる。論説文は客観的な根拠をもとに，その主張を効果的に表すために語句の用い方や論理の展開の仕方を工夫して書かれている。読者は，それらの点に注意して筆者の主張を読み取り，自分の考えを広げ，深めるのである。本単元では，「文章に表れているものの見方や考え方を的確に理解し，人間や社会，自然についての思いを巡らせ，自分の意見をもつ力」（読むことエ　考えの形成）を高めることをめざしている。そのために言語活動「論説文に盛り込まれた情報から，どのような立場でどのように論を展開しているかを読み取ること」を行う。

この学習を通して，相手を納得させるための説明の仕方を身に付けるとともに，これまで３年間学んできた説明的文章の読み方を確かめる集大成の場としたいと考える。

３　単元の目標

（１）筆者の主張と事例との関連について知り，筆者の主張に対する自分の考えを広げようとする。
（国語への関心・意欲・態度）

（２）筆者の考える論理の展開の仕方をとらえ，書かれた内容の理解に役立てることができる。
（読むこと　イ　文章の解釈）

（３）筆者のものの見方や考え方を踏まえて，人間や社会，自然についての自分の考えをもつことができる。
（読むこと　エ　自分の考えの形成）

（４）筆者独自の語句の用い方や意味に気づき，語感を磨き語彙を豊かにすることができる。
（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項　イ（イ））

４　言語活動について（学力・学習状況調査分析）

論説文に盛り込まれた情報から，どのような立場でどのように論を展開しているのかを読み取る。

この単元を通して，相手を納得させるためには，客観的な事実をもとに，語句の効果的な用い方が必要になってくるという説明の仕方を身につけ，そのような態度で論説文を読み取るという学びをしていきたいと考える。

５　単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
①筆者の論の進め方の工夫点について興味や関心をもち，筆者の主張と語句の使い方について自分なりに考えている。	①筆者の考える論理の展開の仕方をとらえ，内容の理解に役立てている。　（イ　文章の解釈） ②筆者のものの見方や考え方を踏まえて，人間や社会，自然についての自分の考えをもっている。 （エ　自分の考えの形成）	①筆者が文章の中で用いている「物語」などの語句の意味を考えることから，語感を磨き，語彙を豊かにしている。　（１）イ（イ）

６　指導と評価の計画（全５時間）

時	主たる学習活動	評価規準	評価方法
1	全文を通読し，初発の感想を書く。 ○自分のもっているさまざまな動物に対するイメージを交流する。 ○全文を通読し，初めて知ったことを中心に初発の感想を書く。	国語への関心･意欲･態度①	発言内容 授業の様子の観察 初発の感想の内容
2	ゴリラの「ドラミング」の事実と人間が受ける誤解を中心に，前半部分を読み取る。 ○初発の感想を交流して，読み通す課題を設定する。 ○序論・本論・結論という文章の構成を確認する。 ○前半部分を読み，「ドラミング」について関連する部分に線を引き，話し合う。 ○「ドラミング」が人間に誤解されるに至った経緯をまとめる。	読む能力①② 言語についての 知識・理解・技能①	発言内容 授業の様子の観察 学習ノート
3 本時	人間の言葉によってつくられた「物語」による功罪を中心に，後半部分を読み取る。 ○後半部分を読み，「物語」について書かれている部分に線を引く。 ○人間が作る「物語」によって，どのような悲劇が起きたのかを読み取る。 ○「物語」という語句を用いて筆者が主張していることについて話し合う。	読む能力①② 言語についての 知識・理解・技能①	発言内容 授業の様子の観察 学習ノート
4	筆者の主張と論理の展開について確かめ，自分なりの意見をもつ。 ○筆者が用いたさまざまな書き方の工夫を確かめ，効果的な論理の展開について考える。 ○筆者が用いている「物語」という言葉の文脈上の意味について理解する。 ○「物語」という言葉の辞書的な意味と，文脈上の意味の違いを考えることから，筆者の主張を読み取る。	読む能力② 言語についての 知識・理解・技能①	発言内容 授業の様子の観察 学習ノート
5	これまでの学習を振り返り，最終の感想を書く。 ○「ドラミング」「物語」という語句の用い方を中心に，これまでの学習を振り返る。 ○学習して分かったことやこれから生かしたいことを考えて，最終の感想を書く。	国語への関心･意欲･態度① 読む能力②	発言内容 授業の様子の観察 最終の感想の内容

7　単元構想表

単元（教材）名　論旨を捉えて　「作られた『物語』を超えて」　全５時間　　重点指導事項　エ

<table>
<tr><td>言語活動例</td><td colspan="2">イ</td><td colspan="3">論説文に盛り込まれた情報から，どのような立場でどのように論を展開しているのかを読み取る。</td></tr>
<tr><td>指導事項</td><td rowspan="7">文章に表れているものの見方や考え方を的確に理解し、人間や社会、自然についての思いを巡らせ、自分の意見をもつ。</td><td>重点化</td><td>学　習　活　動</td><td>評価規準</td><td>時</td></tr>
<tr><td>ア</td><td></td><td>文脈の中における語句の効果的な使い方など，表現上の工夫に注意して読む。</td><td></td><td>1・4</td></tr>
<tr><td>イ</td><td>○</td><td>文章の論理の展開の仕方をとらえて，内容の理解に役立てる。</td><td>筆者の考える論理の展開の仕方をとらえ，内容の理解に役立てている。</td><td>2・3</td></tr>
<tr><td>ウ</td><td></td><td>文章の構成や表現の仕方について評価する。</td><td></td><td>2・3</td></tr>
<tr><td>エ</td><td>◎</td><td>文章を読んで，人間や社会，自然などについて考え，自分の意見をもつ。</td><td>筆者のものの見方や考え方を踏まえて，人間や社会，自然についての自分の考えをもっている。</td><td>2～5</td></tr>
<tr><td>オ</td><td></td><td>目的に応じて文章を読み，知識を広げたり，自分の考えを深めたりする。</td><td></td><td>4</td></tr>
<tr><td>関連する伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</td><td>(1)
イ
(イ)</td><td>筆者独自の語句の用い方や意味に気づき，語感を磨き語彙を豊かにする。</td><td>筆者が文章の中で用いている語句の意味を考えることから，語感を磨き，語彙を豊かにしている。</td><td>2～4</td></tr>
<tr><td colspan="3">国語への関心・意欲・態度に関する評価</td><td>筆者の論の進め方の工夫点について興味や関心をもち，筆者の主張と語句の使い方について自分なりに考えている。</td><td>1・5</td></tr>
</table>

８　本時のねらい

後半部分における筆者の「物語」という語句の用い方を理解することを通して，作られた「物語」によって悲劇がもたらされているという筆者の主張が分かり，「物語」を超えるためには相手の立場に立って行動するとよいなどの自分の考えをもつことができる。

＜人権・同和教育の観点＞

「作られた『物語』によって誤解が生じる」という筆者の論理を読み取り，その「物語」を超えるためには，相手の立場に立って行動するとよいなどの自分の考えをもつことができる。（自己啓発力）

９　本時の展開（３／５）

授業前　文章に表れているものの見方や考え方を的確に理解し，人間や社会，自然についての思いを巡らせ，自分の意見をもつ力について

◎つかむ　これまでの評価の分析から，単元のつけたい力に対する評価を明確にする。

第１回定期テストの意見文問題「自分の日課や習慣の中で，自分自身を律していると考えられるもの」

Ａ（１０点）：２４人　Ｂ（１～９点）：１１人　Ｃ（０点）：２人→個別指導が必要　　欠席：２人

	学　習　活　動	指導上の留意点（○指導　◎評価）
導入	**①　前時の学習を想起し，「ドラミング」が誤解された経緯を確かめる。** ・戦いを避けるためのゴリラの「ドラミング」を，人間は戦いの宣言と勘違いしたことで，恐怖感から殺してしまった。 ・ゴリラの「ドラミング」を正しく理解することで，ゴリラを殺してしまうという悲劇をなくしたい。 **②　本時の課題を提示する。** 後半部分から「物語」という語を用いる筆者の主張に対する自分の考えをもとう。	○前時の学習を想起し，本時の見通しをもつことができるようにする。 ◎つかむ　ゴリラによる「ドラミング」の事実と，人間による誤解の悲劇を正しく把握しているかを確認する。 **（実態の見届け）** ○本時の課題を提示し，学習活動の見通しをもたせる。
展開	**③　後半部分から読み取ったことを，ノートにまとめる。** ・人間は「物語」を作ることによって，心が通じ合うこともあるが，互いに誤解し，憎しみ合うこともある。 ・人間が作る「物語」によって，人間同士も誤解して憎しみ合い，悲劇がもたらされる。 ・誤解を超えるには，「物語」を疑い，相手の立場になる態度が必要である。 **④　ノートにまとめたことを，全体の場で発表し交流する。** ・人間が作った「物語」による誤解を超えるには，常識を疑って相手の立場に置き換えて考えてみる視点が重要となる。 **⑤「人間が作った『物語』による功罪」という筆者の主張に対して，自分の考えをもち，仲間と交流する。** ○人間が作った「物語」による悲劇を超えるためには，常識を疑い，相手の立場に立つことが必要だという筆者の主張に対して，みんなはどのように思いますか。 ・「物語」による誤解を解消するには，筆者の言うように，事実を正しく受け止め，相手の立場を考えることが大切だ。 ・「物語」を作ることによって，人類が発展してきたことも事実だから，「物語」を否定することはできない。 ・作られた「物語」の向こうにある真実を知ろうとすることが，これからの私たちに必要だと思う。	○どのようなことを読み取り，まとめたのかを把握する。**（学習状況の見届け）** →机列表をもとに，机間指導をして把握する。 〈自分が読み取ったことを，ノートになかなかまとめることができない。〉 →読み取ったことを聞き，どの部分から読み取ったのかを指摘させたりする。 ◎伸ばす　自分がまとめなかったことをノートにまとめた仲間を互いに評価し合うとともに，仲間に進んで紹介しているよさを認め合う。
終末	**⑥　「物語」という言葉をキーワードとして，本時のまとめを書く。（定着状況の見届け）** 人間が作った「物語」によって，自然を破壊したり，人間同士がいがみ合ったりする事実がある。「物語」を超えるためには，正しい事実に基づいて判断することである。自分は，相手の立場に立って判断するということを大切にして，これから生活していきたい。 **⑦　家庭学習について説明する。** ・人間が作った「物語」によって起きた悲劇を１つ探す。	**評価規準** **読む能力②** 「作られた『物語』によって悲劇がもたらされている」という筆者の主張を理解し，「物語」を超えるためには，相手の立場に立って行動するとよいなどの自分の考えをもっている。 **評価方法** 交流時の発言内容 授業の様子の観察 学習ノートの記述 **Ａと判断するキーワード等** 「物語」という語句の筆者が用いる文脈上の意味を理解している。 **努力を要する生徒への指導** 本文から筆者の主張している部分を指摘したりする。 **家庭学習につなげるために** 人間の作った「物語」によって起きた悲劇を１つ探す。

家庭学習での評価　文章に表れているものの見方や考え方を的確に理解し，人間や社会，自然についての思いを巡らせ，自分の意見をもつ力について

◎確かめる　「人間が作った『物語』によって起きた悲劇を１つ探してくる」という家庭学習についての評価を行い，次時の授業の導入における◎つかむ評価とする。